

まきのほら 教育委員会だより

わたしの主張2009 全国ベスト3 受賞 相良中 瀧谷美紀さん



「わたしの主張 2009 第 31 回少年の主張全国大会」で、静岡県代表として相良中学校 3 年の瀧谷美紀さんが発表し、応募者全国 51 万人の中から見事ベスト3の「独立行政法人 国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞しました。

「受賞したときは、嬉しかったと同時にとてもびっくりしました」と話す、瀧谷さん(左写真)。「(皆さんにも)“支え合い”について、考えてもらいたい」とのメッセージを頂きました。受賞発表の全文をご紹介します。

支えられた私

相良中学校3年

瀧谷 美紀

私は生まれつき、二千人に一人という脊椎の病気を抱えています。症状が重いと、歩けなかつたり、立ち上がれなかつたりするところもあるような病気で、私も小さい頃には入院や手術を何度かしました。

特に、六才、七才のときの入院では、家族や友達としばらく離れて生活することになり、初め、すごく不安を感じていたのを覚えています。でも、入院中は、母が片道約一時間かかる道のりを、毎日病院に通って来てくれました。小学校の担任の先生も、たまに様子を見にお見舞に来てくれました。学校の友達や、近所の知り合いの方々からの励ましの手紙も、とても嬉しかったです。それに、私が入院中寂しい思いをしなかつたのは、一緒に入院していた病院での友達のお蔭だし、今、毎日元気に過ごせているのは、お医者さんや看護師さんの治療のお蔭です。入院中、私はいろいろな立場の人に支えられていたからこそ、安心して生活できたのだと思います。一つとして支障なく日常生活を送ることができるようになった私ですが、一つだけ心の晴れないところがありました。それは、背中

と足に残った手術の跡です。特に足に残った傷跡は、友達の目にもふれることも多く、必要以上に気になりました。中学校に入学すると、自分の足を「恥ずかしい」と思う気持ちにはさらに強くなり、水泳の授業など、裸足にならないといけないときには、周りの子の足を見るたびに劣等感を抱いて、いつもできるだけ足を隠していました。でも、そんな私を見て、たくさん友達が大丈夫？と声をかけてくれたり、先生方も、私の学校生活などいろいろと気遣ってくださいました。そして母が、手術の傷跡は自分が病気と向き合い頑張ってきた証拠なんだから、恥じるようなことではなく、むしろ誇れることなんだと教えてくれました。たくさん人の優しさに触れ、母のその言葉を聞いて、とても気持ち良くなりました。このことについても、私はいろいろな人に支えられているんだということを実感することができました。

「支える」にはいろいろな形があります。温かい言葉をかけることや、気の利いた手助けをすること、はもちろんですが、相手によっては何もしないで笑顔で見守ったり、じっと待たたりすることも支えることになるのではないかと考えます。大切なことは、単にその人が感じている悩み、苦しみを一時的に取り除くのではないということ。困っているから力を貸して助けてあげる。」といつのもありません。もし、幼いころの私が、病気を理由に身の回りのことをすべてやってもらっていたら、きっと今よりもずいぶん甘ったれた人間になっていたでしょう。それよりも、つらい治療に耐えた自分を、さりげなくほめてくれる言葉に何度も勇気づけられたことを、今でも覚えています。そうしたらうれい経験があったからこそ、病気を乗り越えた今の自分があるので。思うに、「支える」とは「光で照らして、その人が歩むべき道と一緒に探し歩く」ということではないでしょうか。今だけではなく、その人の将来まで考えたとき、横にいる人が最適な言葉や行動でサポートする。これが本当の「支える」とことだと思えます。

これまで、私たちは多くの方々に支えられて生きてきました。そして、今も毎日誰かに支えられて生きています。そろそろ私たちも、誰かを支えるときが来ているのではないのでしょうか。身の回りを見渡して、そっと寄り添い、支えられる人になろうではありませんか。



まきのはらの子ども達があちらこちらで活躍中

部活動等の大会で、日頃の練習成果を発揮し、活躍しています。秋の大会(新人戦等)の結果のごく一部を紹介します。

野球

優勝 榛原中野球部
第2位 相良中野球部

柔道

団体戦第2位 榛原中柔道部

バレー

女子第2位 榛原中女子バレー部
小笠地区大会 女子優勝 御前崎中女子バレー部

ソフトボール

優勝 相良中ソフトボール部

テニス

団体戦男子優勝 相良中男子ソフトテニス部
団体戦女子第2位 相良中女子ソフトテニス部
個人戦男子第2位 相良中千野・長谷川組
小笠地区大会 女子団体戦第2位 御前崎中女子ソフトテニス部

陸上

男子200m 優勝 榛原中 荒井一輝君
" 3,000m 優勝 榛原中 市川慎一君
女子走高跳第2位 榛原中 鈴木愛永さん

水泳

女子100m 平泳ぎ第2位 御前崎中 栗林桃香
女子400m 個人メ第2位 御前崎中 栗林桃香

サッカー

優勝 相良中サッカー部

女子サッカー

優勝 榛原中女子サッカー部

剣道

団体戦第2位 相良中男子剣道部
男子個人戦

優勝 相良中 須藤和平君
第2位 相良中 徳原亮介君

女子個人戦 第2位 榛原中 川合恭可さん

小笠地区大会 男子団体戦 優勝 御前崎中男子剣道部

個人戦 第2位 御前崎中 矢野拓波君

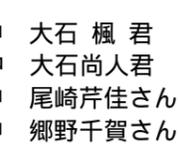
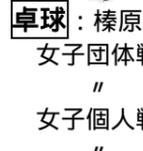
卓球

女子団体戦優勝 榛原中女子卓球部
" 第2位 相良中女子卓球部

女子個人戦優勝 榛原中 南条 調さん
" 第2位 相良中 富永チエミさん

バスケ

男子優勝 榛原中男子バスケ部
女子優勝 榛原中女子バスケ部



安全・安心の学校づくり～進む！耐震化～

相良中学校格技場、榛原中学校武道場、牧之原中学校校舎、相良幼稚園園舎、遊戯棟の耐震補強工事が完了しました。

牧之原市では、合併当初から学校施設の耐震補強工事を積極的に進めてまいりました。学校施設は、将来を担っていく子どもたちが学び、成長する場であり、それと同時に、今年

8月11日に発生した駿河湾沖地震より更に大きい規模で予想されている東海地震などの災害発生時には、地域住民の避難所ともなる重要な公共施設です。

避難所となる体育館に関しては、合併時、多くの学校で耐震性が乏しく、大きな課題となっていました。これらの内、ほとんどがカマボコ型の“ダイヤモンドトラス構造”と呼ばれる体育館で、耐震補強工事が技術的に認められず、新築するしかないといわれていました。しかし、合併直後、ダイヤモンドトラス構造の耐震補強に認可があり、牧之原市ではその技法をいち早く取り入れることとしました。その結果、6年間で20億円かかるといわれた体育館の耐震化を3年間で10億円と、短期間でなおかつ安く行うことができました。

現在、本市では、この他の学校施設についても耐震化を進めています。来年度中に完成予定の3施設で、牧之原市全体の学校施設の耐震化は100%となります。また、学校組合においても、今年度末に牧之原中技術棟が完成し、耐震化は100%となります。

(教育総務室、幼保支援室)

これまでの実績

完了年度	学校施設名	内容	工事費
H19年度	相良小	体育館 補強	127,900
	川崎小	体育館 補強	132,100
	地頭方小	体育館 補強	131,500
H20年度	相良中	技術棟 補強	96,500
	勝間田小	体育館 補強	122,000
	萩間小	体育館 補強	143,900
	坂部小	体育館 補強	128,900
	あおぞら保育園	園舎 新築	313,100
	静波保育園	園舎 新築	401,300
H21年度	菅山保育園	園舎 補強	17,400
	萩間保育園	園舎 補強	39,000
	相良幼稚園	園舎 補強	80,000
	相良中	格技場 補強	75,300
	榛原中	武道場 補強	43,800
完了予定	勝間田保育園	園舎 補強	48,100

牧之原市菊川市学校組合事業

完了年度	学校施設名	内容	工事費
H20年度	牧之原保育園	園舎 補強	51,900
H21年度	牧之原中	校舎 補強	116,100
H21年度 完了予定	牧之原中	技術棟 補強	11,400

今後の予定

完了年度	学校施設名	内容
H22年度	萩間小	給食棟 補強
	地頭方小	給食棟 補強
	榛原中	技術棟 補強
H22年度 予定	地頭方保育園	園舎 補強
	坂部保育園	園舎 新築



いきいき活動 グループ紹介 4

読み聞かせボランティア おはなしクラブ

お話の世界を楽しもう

『むかしむかし、あるところに……』で始まる昔話。幼い頃、誰でも枕元でおばあさんやお母さんに語り聞かせてもらった経験がありますよね。

私たち「おはなしクラブ」は、そんな昔話を子ども達を中心に語り聞かせる会です。正確には「素話(すばなし)」、「ストーリーテリング」と呼ばれ、日本の昔話、グリムの童話、ロシア・イギリスなどの世界の昔話、民話等を語り、楽しんでもらっています。



きちんと再話されたお話を覚えて語る作業は、なかなか大変なことです。語り始めたときの子どもの目の輝きを見ると、そんな苦労は忘れ、一緒にお話の世界を楽しんでいます。保育園、幼稚園、学校、老人会...お招きください。どこへでも「おはなし出張」いたします。再話：言い伝えなどをわかりやすく再表現すること (文責：大石尚美)(社会教育室)

萩間小学校 FBC で総務大臣賞を受賞

「FBC(フラワーブラボーコンクール)」にむけて、「花いっぱい委員会」を中心に、全校児童で種蒔きから仮植、定植、草取り、水やりに取り組み、春は「静岡県教育委員会賞」、秋は「総務大臣賞」をいただくことができました。



教育委員が新しくなりました☆

牧之原市教育委員会では、鈴木委員長及び八木教育長が11月15日に任期満了となりましたが、再任をされ平成25年11月15日まで継続となりました。

牧之原市菊川市学校組合教育委員会では、良知委員の任期満了に伴い、児童生徒の保護者でもある高塚朋子氏が新たに任命されました。11月末現在の委員の構成は以下の通りです。(教育総務室)

牧之原市教育委員会		学校組合教育委員会	
委員長	鈴木干城	委員長	岡本敏彦
委員長 職務代理者	大石幸雄	委員長 職務代理者	林 重由
委員	鈴木弘子	委員	源間藤代
委員	澤田 衛	委員	高塚朋子
教育長	八木儀一	教育長	八木儀一

新型・季節性インフルエンザ ともにご注意を!!

市内でも新型インフルエンザのまん延による出席停止・学級閉鎖が広がっています。

重症化予防のためのワクチン接種や人混みを避ける、うがい・手洗い・マスクの着用など、ご家族で出来る感染予防に努めましょう。なお、今後順次入荷が予定されていますが、ワクチン数の不足により予約受付が困難な医療機関があります。

(健康づくり室 ☎23-0024)

学校支援ボランティア活動 この一年



学校支援本部事業が始まって一年余が経過しました。この間、多くの市民の皆様が学校を支える地域人材リスト「輝楽っ人さん」に登録いただきました。現在の登録者数は、個人178人と42団体(949人)合計1,127人です。これまでの「学校守り隊」のメンバーも含めると3,200人以上の市民の方々が教育活動を支えていることとなります。体験活動、図書整備、登下校見守り、除草作業など、それぞれの方々の特技や経験を生かし、多彩な活動が広がっています。今後もボランティアの募集を継続します。ぜひご協力ください。(社会教育室)

(写真：萩間小学校 草とりボランティア団体「ちよっくら」)

文化財の紹介 - 国宝 聖武天皇勅書一巻 -

平田寺に国宝の聖武天皇勅書が所蔵されています。今から1200年ほど前の奈良時代、聖武天皇は仏法を厚く信仰し、仏教の興隆に力を尽くしました。東大寺をはじめ諸国の国分寺の建立や大仏の鑄造などを行い、大寺に織物、綿、墾田等を授け、天下太平万民和楽を祈られました。この時(天平感宝元年(749年)閏5月20日)くださったのがこの勅書であり、現代に伝わっているのは、この平田寺所蔵のもののみとなります。

「勅」の大字は天皇の筆跡といわれています。

(芸術文化室)



インフォメーション



わが校のじまん

市内の小学校と中学校の『じまん』を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



相良中学校 「感動を創り夢を拓く相中生」



<プラウダー集会>



<校内体育大会:長縄跳びから>

相良中学校には『4つの誇り』があります。それは、「心をこめたあいさつ」、「感動する歌声」、「心を磨く清掃」、「やさしさ広がる福祉の心」の4つです。毎日、朝、帰りの会では、どのクラスからも歌声が響き渡り、毎週金曜日には、全校生徒が一斉に廊下に出て全校の歌『自分らしく』を合唱します。また、学期に一回程度、お互いの気持ちを確認するように全校生徒が体育館に入って、生徒の指揮、伴奏、運営をする全校合唱もわが校の自慢です。今年、『プラウダー集会』と名付けて全校合唱を行いました。本校の体育大会は、生徒会が中心

となって企画、運営をし、競技、応援も1年生から3年生までが5つの縦割り集団となって取り組みます。特に、学級全体で跳ぶ長縄跳びは3年5組が学校最高記録の356回(歴代最高記録270回)という記録を樹立しました。また、色別の各団長からは、それぞれ熱いメッセージがあり、全校生徒が一つになり、感動ある体育大会にすることができました。このように、相中生は一人ひとりの手で感動を創りあげ、よりよい学校を目指しています。

プラウダー：『4つの誇り』をイメージした相中キャラクター

『好きです地小 やっぱり好きです地頭方』 地頭方小学校 - 地域に根付いた学校をめざして -

梅っ子フェスタとビタミンフェアの融合

学習成果発表の場として、毎年「梅っ子フェスタ」を開催しています。郷土の偉人鈴木梅太郎博士のことを調べたり、福祉や地域のことを調べたりして、家の人や地域の方に発表します。今年から「梅っ子フェスタ」と地域で行われている「ビタミンフェア」を一緒に行うことになりました。

田んぼの学校

『地頭方小学校と言えば、田んぼの学校』というくらい、「米作り一年」の活動は知られています。

4月の「塩水選」から、「^{かかし}桑山子コンクール」、1月の「どんと焼き」まで、一年を通して米作りを体験しています。これは、子どもたちの学習が学校の中だけで終わることがないように生の体験をさせたいという願いから、地域教育のボランティア団体『末広会』のみなさんのご協力により実現されています。

子どもたちが自分の学校に誇りを持ち、地域への愛着をさらに深めていけるよう「地域に根付いた学校」を目指して取り組んでいきます。



<しろかきで田んぼをならす>



<しめ縄づくり - 昨年度より - >

編集後記 今年、地震、台風そして新型インフルエンザと、不測の事態が数多く起こった一年でした。改めて、普段からの備えや、被害の予防など心構えの大切さを感じさせられました。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。

ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

教育委員会だより編集委員会

電話：53 - 2642 FAX：53 - 2657

〒421 - 0592 牧之原市相良 275

E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp